

1 教育目標の具現化（本年度教育活動の重点成果指標）（嘉島町立嘉島中学校の例）

【ポイント】

カリキュラム・マネジメントを効果的に進めるために、何を目標として教育活動の質の向上を図っていくのかを明確にすることが重要です。

ここでは、学校として育成を目指す資質・能力を、学習指導要領総則にある育成すべき資質・能力の三つの柱「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」をはじめ、「家庭教育との連携」「学校改革」と喫緊の課題からとらえ、全国学力・学習状況調査及び熊本県学力調査（ゆうチャレンジ）の質問項目を参考に、成果指標として具体的に記載されています。

【 知識・技能 】

- ① 1時間の授業ごとに「できた」「わかった」あるいは「ためになった」と感じる
ことが、いつも（ほとんど）できていると思う生徒の割合
H30. 4月：00. 0% → 各教科等で70%以上
- ② 1か月に読む本の冊数（漫画、雑誌は除く）
H29：一人平均0. 0冊 → 2. 5冊以上

【 思考力・判断力・表現力等 】

- ③ 「自分の健康や安全を考えて生活している」と回答する生徒の割合
→ 85%以上
- ④ 「友達の前で自分の考えや意見を発表するのは得意だ」と回答する生徒の割合
H29：00. 0%（中3） → 50%以上

【 学びに向かう力、人間性等 】

- ⑤ 「思いやりの心をもって人に接する生活をしている」と回答する生徒の割合
→ 85%以上
- ⑥ 「地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある」と回答する生徒の割合
H29：00. 0%（中3） → 50%以上
- ⑦ 「夢や目標の実現に向けて努力している」と回答する生徒の割合
H30. 4月：00. 0% → 70%以上

【 家庭教育との連携 】

- ⑧ 携帯電話やスマートフォンの使い方を家の人と約束したことを守っている生徒の割合（もっていない生徒を含む）
H30. 4月：00. 0% → 80%以上

【 学校改革 】

- ◇ 教職員の1週間当たりの学内総勤務時間
H29：63時間18分（全国中学校教諭平均） → 55時間以内